

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	車山、女神湖、白樺湖エリアの広域連携による観光地の活性化
事業主体 (連絡先)	白樺湖活性化協議会 (立科町観光課 0267-55-6201 担当: 篠原 英男)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	598,320円 (うち支援金: 448,000円)

#### 事業内容

- ① イベントカレンダーの作成  
3エリア内の滞在時間を増やし、交流人口を創出するため、他のエリアの情報を共有するためのイベントカレンダーを作成し、宿泊施設等観光事業者が広域的な情報を把握して、いつでもお客様に情報が提供できるようにした。  
作成部数 10,000部
- ② エリアマップの作成  
観光資源の再発掘で確認した項目を中心に3エリアの周遊マップを作成。観光案内所及び宿泊施設等に設置し、広くお客様に紹介をしている。また、今後実施する誘客宣伝等プロモーションに用いる。  
作成部数 20,000部



【イベントカレンダー及び  
エリアマップ】

#### 【目標・ねらい】

- ① 白樺湖(立科町・茅野市)延利用者数の増加
- ② 夏季(7~8月)観光地別延利用者数の増加

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 白樺湖(立科町・茅野市)延利用者数の増加(県観光地利用者統計調査)  
目標年 H27 対 H25 年比 5%増  
実績 対 25 比 5.8%増
- ② 夏季(7~8月)観光地別延利用者数の増加(県夏季における観光動向調査)  
目標年 H27 対 H26 年比 2%増  
実績  
蓼科牧場・東白樺湖(立科町) 対26比 4.3%増  
車山高原・白樺湖(茅野市) 対 26 比 3.1%増

#### ※自己評価 【A】

【理由】  
立科町と茅野市の広域連携による一体的な情報発信ツールを作成により、情報の共有及び今後の DMO の確立に向けた一歩となった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

エリアマップ等をプロモーション等で活用していく。特に、閑散期である冬季間の誘客に繋げるため、首都圏でのスキーやスノーシューのプロモーション及びキャンペーンでエリアマップを活用して、スキー場のPRとともにこのエリアの冬の魅力をPRする。滞在時間の増加及び消費額の拡大、リピーターの育成、「健康」・「運動」に特化した環境整備等、エリア内の活性化を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある